総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成29年度）

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　①グリーン・イノベーション分野（5/9）

	総合評価 （Ⅰ とⅡとⅢを1：1：2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 （柏市）	3.7	4.9 進捗度 ・各主体の参画による活動の活性化 106% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 395% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 98% 等	2.9 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業 等 地域独自の取組 ・事業推進に向けたプロジェクト連携会議の開催 等	3.5	・多くの指標で目標を上回っている。まちづくり、地域経済、健康、エネルギーに関する多岐にわたる取組が行われていると評価する。 ・介護サービスの件数は確実に増加しているものの、規制緩和、財政措置等の新たな取組についての検討がなされておらず、事業の自律的な展開に向けての一層の展開、検討が必要と思われる。 ・新たに設定された数値目標（4）－①トータルケアステーション創設にかかる定性評価としては、スキーム面だけでなく、体制・候補地・スケジュール等の運営準備へ向けた実務での進捗評価も実施した方がよい。 ・数値目標（4）－②においては、実績が目標値を下回った原因として事業者の撤退による影響が明記されているので、自己評価の際に、参考値として（実施件数の絶対値でなく）事業所あたり訪問リハビリ数の進捗を示してはどうか。 ・今後は、各取組の相乗効果などまちづくりを統合的に進めることでのベネフィットを見える形にして頂きたい。